

子ども サミット 特集号

平成28年度 大牟田市ユネスコスクール子どもサミット

本年度のユネスコスクール子どもサミットは、1月14日に「大牟田市ユネスコスクールの日制定記念事業」として、制定記念式典に引き続き行われました。今年度は、市内から3校、市外から1校の発表がありました。今年で6回目となる子どもサミット。毎回、素晴らしい取組が報告されており、各学校のESDの充実が図られていることを再認識したサミットになりました。



今年も、**明治小学校**の子どもたちによる英語の歌「SEVEN STEPS」で元気にスタート！3年生による歌の披露は、大牟田市がすすめている英語教育ステップアップ推進事業の成果を示すものでした。オリジナルのダンスも素敵でした。

ふるさとのよさを世界へ、そして未来へ

米生中学校からは、宮原坑をとり上げた世界遺産学習の学びについて、発表がありました。

写真展を行ったり、パンフレットを作成するなどの発信のほか、修学旅行先の京都での外国人の方々へのアピール、英語ガイドマップの作成などに取り組んでいました。宮原坑を愛する子どもたちの姿が見える発表でした。



昨年4月に熊本地震の被害を受けた**宇城市立小川小学校**からは、「感じています ふるさとの心 つなぎます 未来へ」と題して、被災地の人々の暮らし、自分たちができることや復興の様子について報告がありました。大牟田からの支援についても感謝の意が表されました。

今年度開校した**宅峰中学校**と**みなと小学校**の子どもたちは、合唱「あすという日が」を披露しました。この歌は、熊本・東北の被災地に向けた大牟田の子どもたちの想いをこめた歌です。被災地の早い復興を願う気持ちが伝わる歌は、聴く人々の心に響くものでした。



笑顔いっぱい、住みよいまちへ



吉野小学校は、「桜を通した 笑顔あふれる つながりのある吉野のまちづくり」について発表を行いました。吉野校区まちづくり協議会の方とともに、児童がまちづくりにかかわっている様子や地元の方々の熱意を感じるものでした。

中友小学校からは、「地域と共に、未来につながる中友校区～子ども民生委員活動」について、発表がありました。地域の民生委員さんと共にお年寄りを訪問する活動は、大牟田市の実態に即した活動として注目されています。



今年子どもサミットのエンディングは、**みなと小学校**の児童の皆さんによる「大牟田もおもしろか」の歌でした。元気な歌声は、会場の方々に勇気を与えてくれました。

大牟田の思いを被災地(東日本・熊本)へ…



白光中学校生徒から白光クッキー社の収益金を及川彦彦先生(日本ユネスコ国内委員)へ、**みなと小学校**児童からユネスコスクール研修会に参加された方の募金を宇城市立小川小学校福木憲穂校長先生に贈呈しました。大牟田からは、毎年、被災地へ思いを届けています。

全ての発表がおわり、大牟田市ESDコンソーシアムのコーディネーターの福岡教育大学教授石丸哲史先生から、子どもサミットの講評をしていただきました。

子どもたちの発表やまちぐるみでESDを推進している大牟田市の取組を高く評価していただきました。

